

館長		主幹	○	主査	○	調査	○	設計	
令和 8 年度 幸松第二公民館大会議室空調設備修繕 仕様書									
業 務 場 所 春日部市小淵 7 3 番地 1 (幸松第二公民館)									
業 務 名 幸松第二公民館大会議室空調設備修繕									
修 繕 の 大 要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 幸松第二公民館 1 階大会議室の空調設備について設置修繕を行うものです。 ○ 契約期間：契約確定日から令和8年11月30日 								

施工日程については、担当者と協議のうえ、決定すること。
協議にあたっては、施設運営に配慮すること。配慮すること。

1 一般共通特記事項

(1) 設計図書に明示されていない部分、及び図面と仕様書とが符合しない部分があるとき、又は現場の納まり上生ずる材料寸法・数量・仕様等の変更で、軽微なものについては担当者の指示に従う。

(2) 受注者は、修繕の施工に当たり、図面又は仕様書に適合し難いと認められる状態を発見した時は、直ちに担当者に通知し、発注者がこれらの場合において、修繕の内容・工期及び受注代金等を変更する必要があると認めるときは、受注者と協議のうえ、書面によりこれを定める。

(3) 本修繕の着手、施工、完成に当たり、関係官公署その他関係機関への必要な諸手続き等は、受注者がすべて書類を作成し、遅滞なく手続きを行う。

(4) 受注者は担当者が指示した事項、又は担当者と協議した事項について記録し、担当者に提出する。ただし、軽微な事項については担当者の承諾を受けて省略することができる。

(5) 現場の安全衛生に関する管理は、関係法令等に従ってこれを行う。また、仮設計画・安全対策については、発注者と協議の上対応する。

(8) 現場においては、常に整理整頓を行い、特に危険箇所等の点検を行うなど、事故の防止に努める。

(9) 既存施設部分、施工済み部分等について、汚染又は損傷の恐れのあるものは、適切な方法で養生を行う。既存施設部分を汚染又は損傷した場合は、担当者に報告し、受注者の責において現状に準じて補修する。

(10) 完成に際しては、修繕範囲内外の後片付け及び整地・清掃を行う。

(11) 材料についての品質又は品等級を明示していない場合には、すべて新品で中等級以上の材料を使用する。

(12) 未検査又は不合格材料等を使用、又は使用した材料が設計図書と相違していると認めた場合には、いつでもこれを交換、又は改造する。

(13) 材料の搬入ごとに、その材料が設計図書に定められた条件に適合することを確認し、必要に応じて証明となる資料を提出する。

(14) 発生材は全て構外に搬出し、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）、その他関係法令等に従い適切に処理する。

(15) 各施工を完了したときは、その施工が設計図書に定められた条件に適合することを確認し、確認事項を担当者に速やかに報告する。

(16) 担当者が施工状態が適切なことを証明する必要があると認めて指示する場合は、写真、材料の各試験成績報告書、施工品質保証書等の必要な資料を整理して提出する。

(17) 写真は、修繕の進捗状況により撮影するほか、施工の適切なことを証明する必要がある場合等に撮影し、これを提出する。また、修繕完成後隠ぺいされる部分に関しては、適宜撮影し提出する。

(18) 修繕関係書類は、担当者の指示により提出する。

(19) 本修繕を施工するにあたって、必要な水・電力は施設より支給するものとする。

修 繕 内 訳 表

費 目	名 称	形状寸法・規格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
1 仮設工事		内訳明細書第1号					
			1.0	式			
2 空調機器設備工事		内訳明細書第2号					
			1.0	式			
3 空調配管設備工事		内訳明細書第3号					
			1.0	式			
共通仮設費			1.0	式			
現場管理費			1.0	式			
一般管理費			1.0	式			
	小 計						
	消費税及び地方消費税		10	%			
	合 計						

内 訳 明 細 書

第 1 号

名 称	形状・寸法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
1 仮設工事						
ユニック車		1.0	車			
脚立足場	7尺、8尺	1.0	式			
養生費		1.0	式			
躯体検査費	内燃材、外壁	2.0	検体			

内 訳 明 細 書

第 2 号

名 称	形状・寸法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
2 空調機器設備工事						
空冷ヒートポンプ式パッケージ エアコン	冷房能力:20.0kw、 暖房能力:22.4kw、	2.0	組			(参考品) 三菱PLZX-ERMP224H6
店舗用同時ツイン 天カセ形4方向	3Φ200V、 圧縮機出力4.61kw					
ケミカルアンカー	M10×100L	8.0	本			
室内機据付金物類	振止め 全ネジ	1.0	式			
防振ゴム・金物副資材		1.0	式			
雑材料費		1.0	式			
室外機据付費		2.0	台			
室内機据付費		4.0	台			
冷媒補充費		5.0	kg			
既存機器冷媒回収費		10.0	kg			

内 訳 明 細 書

第 2 号

名 称	形状・寸法	数 量	单 位	单 価	金 額	摘 要
既存空調機器撤去工事	室外機2、 室内機4	1.0	式			
試運転調整費		2.0	系統			
発生材処分費		1.0	式			
場内小運搬費		1.0	式			
現場雑貨		1.0	式			

内 訳 明 細 書

第 3 号

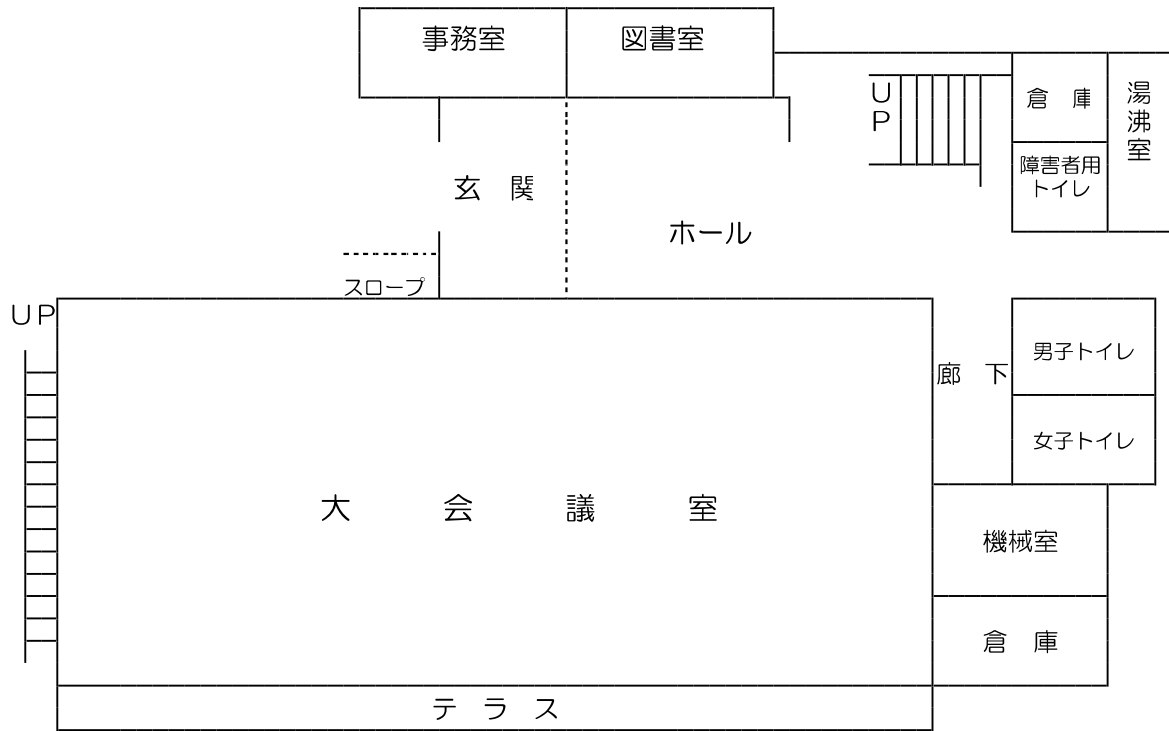
名 称	形状・寸法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
3 空調配管設備工事						
冷媒用被覆銅管（シングル）	9.5Φ	40.0	m			
冷媒用被覆銅管（ハイグレ）	15.9Φ	24.0	m			
冷媒用被覆銅管（ハイグレ）	25.4Φ	16.0	m			
同上配管継手類		1.0	式			
同上配管支持金物		1.0	式			
硬質塩化ビニール管	VP25	1.0	本			
耐熱ドレンホース	25A	4.0	か所			
同上配管継手類		1.0	式			
同上配管接合材		1.0	式			
同上配管支持金物		1.0	式			

内 訳 明 細 書

第 3 号

名 称	形状・寸法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
雑材料費		1.0	式			
冷媒配管労務費		40.0	m			
ドレン配管労務費		8.0	m			
信号線配線工事費	1.25mm-2C	50.0	m			
管内真空引き・圧力試験費		2.0	系統			
既存配管撤去費		1.0	式			
冷媒配管ラッキング費	ガルバニウム板 金130Φ	8.0	m			
ドレン管保温工事費		4.0	m			
発生材処分費		1.0	式			
場内小運搬費		1.0	式			
現場雑費		1.0	式			

1階平面図



2階平面図

